

# INTERNATIONAL KARATE FREDOS IP 2018

## 世界マスタース優勝！成田武治

4月21日、22日～東京体育館～

2015年新設された、シニアマスタースクラス、世界の強豪と闘い世界チャンピオンになる事を目標に極真会館世界の師範としては唯一2018年まで全大会連続出場継続中！「**世界チャンピオンになるまで止めない！**」の強い想いは、日々の稽古も選手としての激しい稽古継続となる。休むと「老化現象に負ける！」初戦のロシア選手189cm 119kgの超巨漢との対戦23cm、34kgの体格差「絶対に負けられない！」「最低勝つ！」下段蹴りから崩す、打ち負ける事はない自信はあった！そして、ポーランド選手との決勝戦、予測に反した強さと速さ、一瞬「強いな！？」と思ってしまったが、「絶対、俺が負ける訳がない！」「絶対に俺の方が稽古やってきたはず！」と直ぐに気持ち切り替わった！**優勝できた！世界マスタースチャンピオンになった！**しかし、「終わった！」とは思わなかった「世界チャンピオンになったから選手引退！」とは想わなかった！世界の極真シニア、ロシア、ポーランド、オランダ、南アフリカ、沢山の強豪選手がいる！決勝の相手は57歳だった、52歳の自分が今選手を止めたら、57歳時の自分はこの日のこの相手には勝てなくなっているだろう！勝ったものの、57歳での**この強さにはリスペクトだ！**極真シニア日本代表として！師範代表として！成田道場代表として**まだまだ闘い続ける！** 応援ありがとうございました！

# 稲生双子姉妹、最高峰大会で2位、3位！

## 国際青少年10歳女子-35kg 準優勝 稲生彩乃

極真青少年最高峰の大会、これまで初級～上級の大会で好成績を挙げてきた稲生双子姉妹！同門決勝を期待したが、決勝進出は彩乃だった！準決勝、優勝候補の一人でもある強敵に**起死回生の上段蹴りで技有奪取！**決勝は雪乃に勝った優勝候補大本命選手！優勝への想いの差が、組手に少しずつ表れる、この差こそ、実力差、執念の差、本気の度合い差、これを逆転するための日々の稽古を変えなければ頂点に昇れない！国際優勝を狙ってはいたが、本当に優勝できると信じていたか？この準優勝で自分の実力を実証できただろう！**自分の強さを信じ来年こそ絶対に国際チャンピオンになる事を本気で目指そう！**

# 国際青少年10歳女子—35kg 3位 稲生雪乃

結果は3位ながらも、負けた相手は、準優勝の彩乃と同じく優勝した尾崎琉加選手、昨年の国際チャンピオンだ！今回は彩乃に上を行かれたが、実力は同等だ！雪乃へのコメントも、上記彩乃と同じです！間違いなく**国際トップになれる才能、要素、力が二人にはある！**来年は体重階級を別にして出場予定、同門決勝ではなく、雪乃、彩乃、二人が国際チャンピオンになるために、日々の稽古を、**毎日毎日、尾関琉加に負けない稽古を繰り返し、絶対に二人で国際チャンピオンになろう！**

**国際壮年45～49歳—80kg 3位 酒井静雄**

**国際壮年35～39歳—70kg 3位 大野篤生**

二人には「**一緒に優勝しようぜ！**」と誓い合い挑んだ国際大会、優勝すればマスターズの出場権獲得だ！酒井は「師範の御陰で優勝できました！と言いたいです！」と常々言ってくれる！転職等で、福島や新潟に引っ越した時も、新幹線で成田道場に通い続けた！そんな酒井と一緒に優勝、の夢が、成田道場壮年部最強道場目標の原点となった！大野は**一般並みの身体能力を持ち稽古量も豊富、優勝の期待大！**であったが、戦略、組手技術にまだ改善の余地がある、酒井も同様に自分の組手が相手に対して、審判に対してどう感じ、どう見られているのか？それを客観的に分析しながら闘えることが優勝への重要ポイントだ！**冷静な分析力と、精神力は稽古の積み重ねでしか培えない！**壮年部はこれまで最大の 成田、酒井、大野、木本、田中、広瀬の6人が参戦！来年はこの6人全員の優勝と参加選手の増加も期待し**成田道場壮年部最強道場を目指そう！**